

DX 企業講話 株式会社綿谷製作所 様



講師

株式会社綿谷製作所 専務取締役 綿谷 様

講話内容

- ・地域企業における DX の取組
- ・会社紹介、製品開発内容、会社組織、従業員の年齢層等
- ・他分野や SDGs への取組（野菜栽培）など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと等】

- ・綿谷製作所では射出成型機や工作機械の組み立て、工作機械や自動車など、多種多様な部品の加工、製造、ロールダイスの加工製造をしている。
- ・生産管理課、加工課、組立課、転造ダイス工場、品質保証課、経営企画室などがある。
- ・ミニ野菜も作り、販売している。
- ・DX 化により、少しずつだが紙の削減などによる効率化ができています。

【感想】

- ・一つ一つの課にしっかりとした目標を持ってやっているの、いい会社になっているんだと思う。
- ・デジタル化になれずに遅れを取らないように、DX を取り入れより働きやすくしようとするしせいがとてもよかった。
- ・なんでもデジタル化してもうまくいかないことや、手間が増えたりとデジタル化も難しいなと思いました。
- ・デジタル化することでメリットが沢山あってびっくりした。

- ・働き方の多様化、効率化、全員で足並みをそろえ、協力することが大切だと聞いてとても納得した。
- ・製品をつくるだけでなく、畑などもやっていて面白い会社だと思った。
- ・AIがあることで、たくさんの仕事に役に立っている事が分かりました。私たちは、AIに負けないように多くの知識を持って、社会に出る必要があるなと思いました。
- ・「暮らしや社会に求められる製品が多くの方に届くことがやりがいであり、喜びです。」とシートに書いてあり、製造業以外にも、社会人として、とても素晴らしい言葉と感じた。
- ・これからの若者は、AI、デジタル化に対し、強く、知識を広げていかないといけない。
- ・ものづくりと農業を組み合わせることはすごいアイデアだなと思った。新しい可能性をつくり出すことは難しいんだなと思った。
- ・これから製品をつくる時には、SDGsにも気をつけながら製作をしなければいけないんだなと思いました。
- ・SDGsに向けての取り組みや空気清浄機制作、仕事のデジタル化など今の時代に合った仕事をしていて素晴らしいと思ったし、個人的にすごく良いなと思いました。